

社会的自立に向けて 生徒も保護者も一歩踏み出した 2 学期でした。

今日で 2 学期が終わります。聖母の小さな学校の今学期を振り返ってみますと、9 月にはスポーツフェスタのテーマを決めるために、連日話し合いをしました。話し合うためには自分のことを知らなければなりません。否が応でも、「自分は不登校である」という現実を見なければなりません。その自分を見つめていると、自分について様々なことがわかりました。「不登校の自分のことを考えると自分の将来などないように思えて辛かったので、避けていた」とか、「人と比べて劣っているように思えて、悲しかった」とか、「自分の中の不安をそのまま、放っておいた」とか、「人に認めてもらいたい自分」を強く感じたりしました。いずれにしても、生徒が自己の内面からしぼりだすようにして出てきた事ばかりです。そしてできたテーマが「本当の自分を避けないで見る！そして、否定しない！そして、人と共に生きる！」でした。このテーマで実施したスポーツフェスタは、3 人の生徒のために、90 余名の方々が集っていただきました。そして、生徒の成長を共に喜んで下さいました。その後、生徒はそのテーマを意識して学習に励みました。「仲間と共に何かをする」事の難しさに直面している生徒、「他人任せにしないで自主的に行動する事」を目標にした生徒、常に「人を意識してつながりを持つ事」を学ぶ生徒など、自分の取り組む課題がつかめたようです。

同時に保護者も、子どもと共に聖母の行事に参加したり、先生との面談や保護者会などで学びを重ね、不登校の子どもを受け止め、共に生きる力を少しずつ付けているように思います。子どもの不登校を、親である自分の課題として意識し、自分が変わろうとするようになりました。自ずと家族関係も、小さいけれど好ましい変化を見せております。この歩みを家族で続けてもらいたい、努力を重ねて欲しいと期待しております。

生徒たちは、自分自身の現実を受け入れ（自己との和解）、次に社会や他者と再び関係を築く（社会との和解）努力ができるようになりました。原籍校への夜間登校も始めております。少しずつでも、現実の自分に立脚して歩みを始めるようになった事は、大きいことで、真の一歩です。ここから人格的な成長も始まります。3 学期も、更に努力を重ね、成長を遂げるよう導きたいと思います。今学期いただきました様々なお協力に感謝いたします。



親子ぎょうざ教室
於城北中学校



クリスマス・リース作り



華道教室「正月・松」



クリスマス会「サンドイッチ作り」

<ご案内>

教員研修会[新・炉辺談話]

日時：2012年2月4日（土）午後1：30～

場所：聖母の小さな学校

内容：「不登校生徒の教育について」

※詳細は、後日、お知らせします。

<冬休みの予定>

月日	曜	主な行事	月日	曜	主な行事
12/22	木	2学期終業式	1/1	日	元旦
23	金	祝日「天皇誕生日」—冬休み—	2	月	閉校
24	土	面談日	3	火	〃
25	日	教育を考える集い（京都）	4	水	卒業生の集い
26	月	小中高連絡会	5	木	
27	火	〃	6	金	
28	水	仕事納め	7	土	面談日
29	木	閉校	8	日	
30	金	〃	9	月	祝日「成人の日」
31	土	大晦日	10	火	3学期始業式 9：30～11：00